

Birth order and paediatric allergic disease: A nationwide longitudinal survey

出典	Clinical and Experimental Allergy 2018;48(5):577-585 (https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/29368358/)
著者	Kikkawa T et al.
調査地域	全国
調査時期	2001年～2015年
調査対象	2001年に出生した小児
依頼数	53,575人
有効回答数 または回収率	88%
診断方法	アレルギー疾患での受診の有無を保護者が申告
有症率	<生後6-18か月>第1子17.3%, 第2子16.3%, 第3子15.4% <生後18-30か月>第1子15.2%, 第2子16.8%, 第3子15.6% <生後30-42か月>第1子6.7%, 第2子8.0%, 第3子7.4% <生後42-54か月>第1子6.8%, 第2子7.7%, 第3子7.1% <生後54-66か月>第1子7.5%, 第2子8.3%, 第3子8.0% <生後66か月-7歳>第1子6.6%, 第2子7.5%, 第3子7.0% <7歳-8歳>第1子6.4%, 第2子7.0%, 第3子6.1% <8歳-9歳>第1子5.8%, 第2子6.5%, 第3子6.4% <9歳-10歳>第1子5.4%, 第2子6.1%, 第3子5.9% <10歳-11歳>第1子5.7%, 第2子6.0%, 第3子6.5% <11歳-12歳>第1子4.9%, 第2子5.5%, 第3子5.8%
調査概要	気管支喘息、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎の罹患と誕生順序の関連を評価した論文。後の出産順序はアトピー性皮膚炎のリスクを高めた。